

原油高で登場した技術



旧 Mobil の MTG を覚えていますか

復活と原油価格の下落が重なって

1970 年代のオイルショックによる原油価格の高騰を契機に開発された合成燃料の技術が、その後、原油価格がバレルあたり 10ドル台まで下落したことから、長い間お蔵入りしていました。

ここ 1, 2 年の原油価格の高騰のおかげで当時の技術が経済性を持つようになり、この夏、米国で、石炭からガソリンを製造する商業設備を建設する計画が始動しました。

石炭をガス化してメタノールを製造し、そのメタノールからガソリンを製造するもので、旧 Mobil が 1970 年代に開発した methanol-to-gasoline (MTG) 技術を採用する予定でした。

それからわずか数カ月後、計画が白紙に戻されました。

話を 7 月に

米国の石炭大手 Consol Energy と石炭ガス化会社 Synthesis Energy Systems が 7 月 28 日に、ウエストバージニア州の石炭からメタノールおよびガソリンを製造する商業設備を建設して運転するための合弁会社を設立したこと、および基本設計を開始することを発表しました。

CO2 回収・貯留も含まれ、早ければ 2012 年に運転を開始する計画で、発表の場にはウエストバージニア州知事のほか同州選出の上院議員 2 名の姿もありました。

この日のニューヨーク市場の WTI 原油先物価格はバレル 124.73ドルでした。

そして、Synthesis Energy Systems は 9 月下旬に、ExxonMobil Research & Engineering と MTG 技術のライセンス契約を締結しました。

ところが

(Web 公開)「世界のエネルギーの話題」(2008 年 11 月 7 日)

10 月 23 日に合併事業が終了しました。

Synthesis Energy Systems の求めで事業が中止されたもので、同社は金融危機に伴う資金調達環境の悪化が原因と説明しています。

Consol Energy は、「原油価格が劇的に低下したことも要因になっている」(10 月 24 日、[Charleston Gazette](#))と同情的です。

この日の WTI 原油価格は 67.84 ドルでした。

現在、米国エネルギー省の国立エネルギー技術研究所で coal-to-liquids の経済性が検討されていますが、「WTI 原油が 84 ドル以上でなければ投資家には魅力がない」(10 月 30 日 [Reuters News](#))そうです。

Consol Energy は、石炭のガス化設備は建設する考えであり、「別のパートナーを探す」(10 月 24 日、[Associated Press Newswires](#))としています。

Exxon Mobil 自身も

9 月初めに Exxon Mobil とナイジェリア国営石油会社が、天然ガスからガソリンを製造する設備の計画に関する基本合意書を締結しました。

この MTG 設備の能力は公表されていません。

「業界関係者は 100,000 bpd と語って」(8 月 6 日、[World Gas Intelligence](#))います。

製造されたガソリンはナイジェリア国内で消費されます。
同国のガソリンの輸入を抑制できると期待されています。

この計画は、Exxon Mobil の Tillerson 会長兼最高経営責任者が 3 月 28 日にナイジェリアの大統領を表敬訪問した際に提案したもので、「大統領は石油大臣に対して直ちに交渉に入るように指示した」(3 月 29 日、[All Africa](#))そうです。

この日の WTI 原油価格は 105.62 ドルでした。

ひとこと

(Web 公開)「世界のエネルギーの話題」(2008 年 11 月 7 日)

Fischer-Tropsch 反応によってディーゼル油、ジェット燃料などを製造する GTL 技術、およびガソリンを製造する MTG 技術の両方を持ち合わせている Exxon Mobil は、相手国のニーズに柔軟に対応できます。

(YY)

本レポートは、世界の 2500 紙以上の新聞、5500 紙以上のビジネス紙および業界紙、600 以上のニューズワイヤー(速報)/プレスリリース等を検索できるファクティバ(ダウ・ジョーンズ社のデータベースサービス)を利用して入手した多数の記事、レポートを比較、分析して執筆しています。(山崎由廣)